



子供の見つめ方～宮津航一さんから学ぶ～

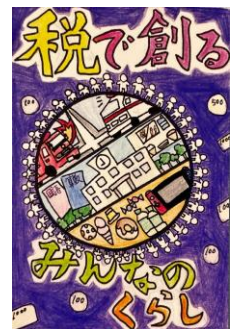
先週10日(金)は、宮津航一さんを講師として招きました。宮津さんはまだ大学生ですが、「ふるさと元気子ども食堂」の代表で、バイタリティーあふれる青年です。宮津さんは「このとりのゆりかご」に預けられたことでも知られています。熊本市の慈恵病院に設けられた「このとりのゆりかご」の運用初日の午後、最初に預けられたのが宮津さんでした。その後、里親の宮津美光・みどり夫妻に引き取られ、高校2年のときに正式に宮津家と普通養子縁組されました。幼少の頃から地域のボランティアにも参加し、「子供に関わる様々な問題は『地域の問題』として捉えるべきで、『地域で見守り地域で子育て』をするという考え方がこれから大切だ」ということを語られました。講話の中で、**真実告知**※(下記参照)の大切さを語られ、「自分の人生はピースが欠けているだけで、そのピースを探すことを周りの人に助けられて探し出していった。」と述べられました。また、「『家族』とは、血の繋がりがだけが家族ではなく、血が繋がらないからこそ、血縁を越えた家族が生まれる。」という家族観を述べられました。さらに、「自分の生い立ちがあってよかった。学びがあり、様々なことを経験でき、幸せな日々を送っています。子供たちには心の内面が満たされない子供もいます。そんな子供たちのために、『子ども食堂』の運営を充実させたり、『子ども大学』設立準備を頑張ったりしている。」と話されました。本日の研修は、子供たちの見つめ方を学ぶことができ、私自身の学びとしても大変意義深いものとなりました。



その後、里親の宮津美光・みどり夫妻に引き取られ、高校2年のときに正式に宮津家と普通養子縁組されました。幼少の頃から地域のボランティアにも参加し、「子供に関わる様々な問題は『地域の問題』として捉えるべきで、『地域で見守り地域で子育て』をするという考え方がこれから大切だ」ということを語られました。講話の中で、**真実告知**※(下記参照)の大切さを語られ、「自分の人生はピースが欠けているだけで、そのピースを探すことを周りの人に助けられて探し出していった。」と述べられました。また、「『家族』とは、血の繋がりがだけが家族ではなく、血が繋がらないからこそ、血縁を越えた家族が生まれる。」という家族観を述べられました。さらに、「自分の生い立ちがあってよかった。学びがあり、様々なことを経験でき、幸せな日々を送っています。子供たちには心の内面が満たされない子供もいます。そんな子供たちのために、『子ども食堂』の運営を充実させたり、『子ども大学』設立準備を頑張ったりしている。」と話されました。本日の研修は、子供たちの見つめ方を学ぶことができ、私自身の学びとしても大変意義深いものとなりました。

税に関する絵葉書コンクール

11日(土)は、税に関する絵葉書コンクールの表彰式が行われました。このコンクールは、熊本法人会が主催し、小学生を対象に、税が社会で果たしている役割の重要性について正しく理解されるために、毎年開催されています。本校からは、6年生の西村幸音さんが優秀賞を受賞し、帯西も学校賞を受賞しました。私も授賞式に参加し、西村さんの栄えある姿を参観してきました。税金は私たちの暮らしを支えてくれます。これからも正しく、皆の幸せのために使われて欲しいと願います。



帯西まつり

帯西まつり(おびにし文化祭)が、10日(金)から12日(日)まで開催されました。帯西コミセンホールで様々な文化的な行事や、子供たちが楽しく参加できるイベントが行われ、賑わいを見せていました。私も地域の方々から制作された作品等にふれ、久しぶりに芸術を鑑賞することができ、心が潤いました。上記の宮津さんの言葉にあるように、「地域で見守り地域で子育てをする」姿が帯西の校区にはあり、とてもありがたい活動だと再認識することができました。子供たちも意欲的にニュースポーツ等に参加していました。地域の皆様、3日間様々な準備や当日のお世話等、たいへんありがとうございました。



※里子や養子に対して、育ての親から「あなたを産んでくれた人は別にいること」や、「生みの親は事情があって、いまはあなたとは一緒に暮らせていないこと」などの出生に関する事実を伝えること